

## 5. 計画の基本理念・方針及び目標

### 5-1 計画の基本理念

本市における将来のまちの姿・方向性、公共交通を取り巻く課題を踏まえ、本計画の基本理念を以下のとおり設定します。

#### ■公共交通を取り巻く課題

##### まちづくり の課題

- ①将来の人口動向を踏まえた交通ネットワークが必要
- ②集約型の都市づくりを支援する交通体系が必要
- ③広域観光周遊を支援する交通体系が必要

##### 公共交通全 体の課題

- ④どの地区からも乗り換えなしに通院できる公共交通が必要
- ⑤地域の買物先ニーズに合った経路・運行時間の見直しが必要
- ⑥小中学校の統廃合を見据えたスクールバスの役割を担う公共交通が必要
- ⑦歴史・自然・レジャー・温泉等、多様な観光資源と交通拠点を結ぶ交通が必要
- ⑧市民バスの利用促進を図り、高齢ドライバーの運転免許返納を促す取り組みが必要

#### ■計画の基本理念

**「人」・「暮らし」・「環境」が活きる  
交流拠点都市づくりを支える公共交通**

- 人口減少、少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展していくためには、地域住民の日常生活や社会生活の確保、活力ある経済活動の実現、観光その他の地域間の交流の促進等を進めていく必要があります。
- 本市の将来像「市民が共に支えあいながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまちづくりを進めます」の実現に向けて、本市の豊かな自然環境、歴史・伝統、生活文化等の地域資源を活かし、人・経済・文化・情報などが行き交う交流拠点都市を形成することにより交流人口を拡大し、地域の活力と賑わいを創出し、市民の安定的な暮らしの実現や持続的発展を「公共交通」の面から支えていきます。
- 「人」・「暮らし」・「環境」が活きる交流拠点都市づくりを公共交通の面から支え、「住みたいまち」、「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」を実現できる持続可能な公共交通を構築するとともに、市民が主体的に活動できる制度や仕組みを通して、市民とつくりあげる公共交通を目指します。